

資料No.2

江田島市交流定住促進協議会
令和3年3月24日

令和3年度江田島市当初予算について

1 概要

新型コロナウイルス感染拡大により、地方移住の関心が高まっている状況を受け、令和3年1月末に移住・定住ポータルサイト「hodohodo」を開設した。また、空き家バンク制度について、今年度バンクの利用を登録制へと要綱の改正を行った。これにより、空き家バンクを利用した移住者数及び利用希望者の把握が可能となった。

令和3年度は、ポータルサイトで本市を認知→空き家バンクを利用して移住先を選定→移住までが一連のフローになるよう取り組む。

令和3年度も引き続き、移住交流拠点施設フウドを主体に空き家バンク内覧案内、移住者相談、移住者・リモートワーカーと地域住民との交流など、幅広く移住定住を促進するための取組を行う。

2 内容（予算額の（ ）内は前年度当初予算額）

事業名	項目	内 容	予算額
交流定住促進事業	市交流定住促進協議会補助金	フウド事業を始めとする市交流定住促進協議会事業に関する費用を補助する。サテライトオフィス事業に係るフウドへの委託料は、所管替えにより予算を組替え、別事業から支出。	5,411千円 (8,530千円)
	空き家バンク制度・ポータルサイト運営	市内の空き家物件情報をポータルサイトに掲載し、移住希望者へ情報を提供する。ポータルサイトに係るサーバー管理料を予算化。	27千円 (-)
	移住・定住支援補助金	定住目的の転入者が、居住用の自宅を新築した場合に費用の一部を補助する。(上限額300千円) 市内の民間賃貸住宅に市外から移り住む子育て世帯に対し、補助金を交付する。(上限額120千円) 移住を検討している方が本市を訪れる際、片道の交通費を補助する。(上限額20千円)	2,880千円 (3,280千円)
	おためし暮らし住宅事業	移住を検討している方に対し、1週間単位で利用できる物件を提供し、おためしで移住を体感してもらう制度。(利用料：1週間14千円)	980千円 (1,003千円)
	移住定住フェア出展及び会議等出席のための旅費	首都圏で開催される県の定住フェア等に参加し、本市のPR及び移住希望者への相談対応などを行うための旅費。移住定住関連、空き家活用に関する会議出席のための旅費。	502千円 (965千円)